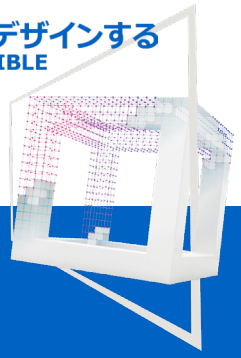




KONICA MINOLTA

多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE



ファイルセキュリティ整理・実装サービス

— “守る前”に、何を・どこまで守るかを定める —

こんなお悩み、ありませんか？

どのファイルが重要なのか、
うまく説明できない

生成AIの活用が増え、すでに指摘を
受けた／ヒヤリとした経験がある

情報漏えい対策は必要だが、
ルールを厳しくすると
現場が回らなくなりそう

外部共有を、誰が・どの基準で
判断しているのか決まっていない



➡ 「守る」と決める前に、まずは**“業務と判断”の整理から**始めましょう！

サービスの背景

私たちは、ドキュメントコンサルティングや紙文書の電子化支援を通じて、「情報の扱われ方」そのものに長年向き合ってきました。情報がどこで生まれ、どのように使われ、どこで滞り、属人化していくのか。そうしたドキュメントのライフサイクル全体を見てきた経験をもとに、ファイルセキュリティを設計しています。



このサービスで解決できること 

「ファイルを守る」前に、どの業務で・何を・どこまで守るのかを整理

経営・管理部門

- 業務を止めずに、情報漏えいリスクを下げられる
- 「ちゃんと管理できている」と説明できる状態になる

情報システム部門

- ルール作りや例外判断を、一人で抱えなくてよくなる
- 現場と揉めずに進められる

業務部門・現場

- 「これは共有していい？」と毎回迷わなくなる
- 分かりにくいルールに振り回されなくなる

業務の実態を整理したうえで、
**守るべきファイル・判断基準・例外ルールを明確にし、
無理なく実装・運用できる状態まで支援します！**

ファイルセキュリティ実装の進め方

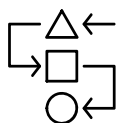
Microsoft 365 / Google Workspace 環境を前提に、**Microsoft Purview Information Protection** および **Google Workspace DLP** を活用したファイルセキュリティの段階的な実装を想定しています。

STEP1 | 現状整理（業務起点・ワークショップ）



- 文書の作成・保管・共有・廃棄の流れを整理
- 図面／技術文書／品質文書／契約書などの洗い出し
- 例外・グレー運用の可視化

STEP2 | 守る優先順位の明確化（ワークショップ）



- データの重要度 × 業務影響で整理
- 「今すぐ守る」「段階的に対応」を切り分け
- 無理のない範囲でのスコープ設定

STEP3 | 最小構成で実装



- ファイル分類（ラベル）の初期設計（Microsoft Purview Information Protection）
- 情報漏えい対策ルールの設定（Microsoft Purview Data Loss Prevention／Google Workspace DLP）
- 導入前に“影響シミュレーション”を実施

STEP4 | 運用定着・自走支援



- 誤検知・過検知の改善判断
- 例外対応の伴走運用ガイドを提供

このサービスのゴール

- ✓ 業務を止めずにファイルを守れている状態
- ✓ 判断ルールが整理され、属人化しない運用
- ✓ 将来的な拡張・内製化にも対応できる基盤

まずは事実整理から一緒に進めませんか。
ぜひご相談ください！

